

第49回 I B I Cスペシャルセミナー

『今治地場産業の身近なルーツ』～先人の足跡に学び、未来を拓く～

講師 地域史研究家 大成 経凡 氏

- 【日 時】平成26年4月21日(月) 18:30～
- 【主 催】今治地域地場産業振興センター
- 【参加費】無料
- 【開催地】じばさんセンター 4階 第1研修センター
- 【参加者】31名

今回は、地域史研究家大成経凡氏をお迎えし、今治産業の繊維・塩田・漆器のルーツについてお話しして頂きました。

現在、地域ブランドである今治タオルには多くの商人たちが綿業に刺激を受けて多くの商人が努力の結果、産地の地位を高められました。

昔の愛媛県波止浜で伊予国(現在の愛媛県)で最初の入浜塩田という塩づくりの方法を発展させ産地を活かし、造船(交易が盛んになり、船の修理等が必要)・蟹工船(塩を使い、日本一のカニ缶製造量でありました。)を起業しました。一つの分野から新しい分野に進出することで経営成長していきます。

今治の伝統工芸品の一つ桜井漆器によって、行商の方法を効率よくしようと商人が月賦販売(現在のクレジット)を考案しました。のちに家具・衣類にも応用され産業の貢献になりました。

このセミナーで、一つ一つに産業の歴史があり、現在の産業に伝わり、またそこから私たち地元の今治産業が新たな志が生まれていくのではないかと思います。

他にも講演を聞き「経営者として素晴らしいと思いました。」「商売する上で歴史は必ず必要だと思いました。」「さすが商人の町、今治」などの感想が多く寄せられました。



Profile/大成 経凡 (おおなる・つねひろ)

- ・昭和48年5月、波方町生まれ。
- ・今治西高校をへて、東北福祉大学へ進学。大学在学中は、社会教育学科を専攻。
- ・卒業後、今治市中学校の社会科講師を勤めた後、愛媛県・愛媛県教育委員会の文化財調査事業に調査員としてかかる。
- ・その後、英昌海運(有)に勤務し全国津々浦々の航海生活を1年間経験。
- ・日本塩業研究会員
- ・NPO法人 能島の里 理事
- ・受賞歴
2009年 第49回久留島武彦文化賞受賞
2014年 第29回愛媛出版文化賞奨励賞受賞

